

7/30 五曜

法案撤回求めアピール

鎌倉市議有志ら34人が会

神奈川県鎌倉市で29日、現職と元職の超党派の市議34人が「安全保障関連法案に反対する鎌倉市議会議員・元議員有志の会」を発足させました。

現職は、日本共産党(2人)、神奈川県ネット(2人)、新・草莽(2人)、新・草莽(2人)の会(2人)、鎌倉みらい(1人)の7人と無所属の2人の計9人です。元職は、自民党に所属していた人など25人で、最高齢

は93歳。議長経験者も5人います。

同日、市役所内で開かれた発会式では、世話人5人を選出。同市議会歴代議長会の和田猛美(たけよし)会長を代表世話人とし、

赤松氏は、6月定例市議会で安全保障関連法案(戦争法案)の撤回を求める意見書を、13対10の賛成多数で可決

したことをきっかけに、元議員にも賛同を広げて市民にアピールしようと声をかけたと報告しました。

和田氏は、国会前での若者のたたかいや、市議会の意見書に励ま

民主主義の行方不安

獨協大学 学生・教職員が集会

埼玉県草加市の獨協大学で28日、学生や教職員の有志による「安全保障法案(戦争法案)を撤回する集い」が開かれました。

会場の講義室は約150人でほぼ満席。憲

法案に「NO」と訴える(右4人目から左へ)和田、赤松の両氏ら現職と元職の市議ら29日、神奈川県鎌倉市



法学の古関彰一獨協大学名誉教授が基調講演し、戦争法案反対の運動に取り組む学生らが訴えました。

有志の一人の女子学生114年生は「武力



「意見を持ち、行動しよう」と呼びかけた集い28日、埼玉県草加市の獨協大学内

で平和が実現できるといふ議論に警鐘を鳴らしたい。頭で思っているだけでなく行動しよう」と語り、SEALDs(シールズ)自由と民主主義のための学生緊急行動)に加わる女子学生11年生は「何が起きているのか知りたくてシールズ

に入りました。『よくわからない、知らないから考えなくてもいい』とってしまうのは残念。できることから始めてほしい」と呼びかけました。

集いに参加した男子学生12年生は「実際に戦争になるかどうかわからないが、(国会の議論などを見て)民主主義の行方に不安を感じている。いろいろな意見を聞き、知るところから始めたい」と話しました。